

株式会社 翔慶

2023年度 環境経営レポート

(対象期間 2023年2月1日 ~ 2024年1月31日)



発行日： 2024年2月20日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
事業紹介	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

ご挨拶

株式会社 翔慶は、産業廃棄物処理業を主事業としています。
1999年の創立以来、産業廃棄物に再び命を与え、快適な社会づくりに貢献するべく事業展開して参りました。
当社は環境の美化・健全化を目指し、建築物解体工事現場から発生する産業廃棄物を厳しい目で選別しております。最適な再生資源化を図るべくエコアクション21に基づく環境経営システムの構築運用を通じ、地球環境に配慮した企業として事業展開致します。
省資源・省エネの推進、産業廃棄物の削減並びに適正管理等による環境保全に関する目標を設定し、全社員に周知することにより、環境意識を高め継続的に環境負荷の軽減へ取り組んで参ります。

環境経営方針

当社では、従前より地球環境への配慮を考え、産業廃棄物の中間処理後の廃棄物削減に注目しておりました。現在ではリサイクル率100%を実現し、廃棄物全量のリサイクルに至りました。
しかしながら、地球環境を考えると産業廃棄物のリサイクルの取り組みだけでは十分と言えず、環境負荷の観点から二酸化炭素排出量や水使用量など各種エネルギー削減等にも注視し、地球環境の保全と改善に配慮するべく、行動指針を定め、継続して環境経営に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の削減に努めます。
4. 受託した産業廃棄物のリサイクルに努めます。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. 地球環境を通じて人材育成を行っていきます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日:2022/2/5

代表取締役社長 山城 慶太

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 翔慶
代表取締役社長 山城 慶太

(2) 所在地

本社・工場 大阪府大阪市大正区南恩加島7丁目1番82番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	部長	吉川 哲平	TEL:090-6978-6111
担当者	経理部	中村 舞	TEL:090-9618-3887

(4) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業、コンクリート再資源事業

(5) 事業の規模

法人設立 1999年4月28日

資本金 40百万円

売上高 9億8千万円

廃棄物処分量 142,266トン

産業廃棄物収集量 74,201トン(がれき類)

	プラント
従業員	30 名
延べ床面積	3303.58 m ²

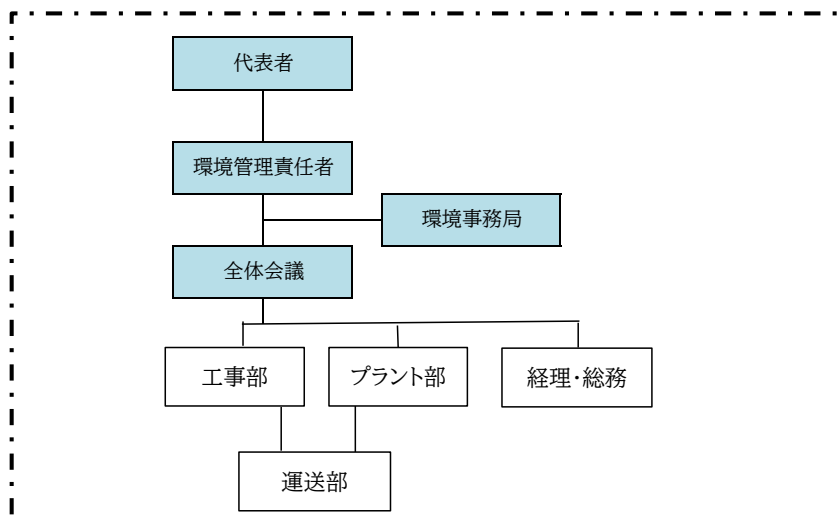
車種	台数	備 考
10tダンプ車	6 台	
4tダンプ車	2 台	
軽車両	1 台	
合計	9 台	

主要設備	台数	備 考
ジョークラッシャー	2 台	54(t/h)/50(t/h)
グリズリフィーダ	1 台	100(t/h)
振動ふるい	1 台	60(t/h)
磁選機	1 台	表記なし(ベルト上の不純物回収の機械の為)
一般粉塵用集塵機	1 台	180m ³ /Min
スーパーダストミックス	1 台	160m ³ /Min
合計	7 台	

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:	株式会社 翔慶
対象事業所:	本社・工場
活動:	産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業、コンクリート再資源事業

環境経営組織及び役割・責任・権限



	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者(社長)	・環境経営における統括責任 ・環境経営における課題の明確化 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境活動の取り組み結果を代表へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、全体会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全体会議	・環境経営計画書の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

許可の内容

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類							
				中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	金属くず	
大阪市	第6620100721号	令和5年1月26日	令和10年1月10日	破砕					○	○		

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
大阪府	第02700100721号	令和5年5月27日	令和10年5月26日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			
兵庫県	第02803100721号	令和5年4月22日	令和10年4月21日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			
滋賀県	第02501100721号	令和6年6月5日	令和11年6月4日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			
和歌山県	第03000100721号	令和5年5月1日	令和10年4月30日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			
三重県	第02400100721号	令和4年9月12日	令和9年9月11日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			
奈良県	第02900100721号	令和5年5月27日	令和10年5月26日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			
京都府	第02600100721号	令和5年7月28日	令和10年5月20日	無			○	○	○	○	○	○	○			○			

産業廃棄物の処理フロー(リサイクル率)



環境経営目標及びその実績

中長期目標

項 目 \ 年 度		2022年	2023年	2024年	2025年
		基準年	目標	目標	目標
電力による 二酸化炭素削減	kWh	247,258	244,785	242,313	239,840
	kg-CO ₂	78,628	77,842	77,055	76,269
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
プロパンガスによる 二酸化炭素削減	L	33.40	33.07	32.73	32.40
	kg-CO ₂	100.20	99.20	98.20	97.19
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
自動車燃料による 二酸化炭素削減 (ガソリン)	L	21,006	20,796	20,586	20,376
	kg-CO ₂	48,733	48,246	47,759	47,271
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
自動車燃料による 二酸化炭素削減 (軽油)	L	556,270	550,707	545,144	539,581
	kg-CO ₂	1,435,175	1,420,824	1,406,472	1,392,120
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
灯油使用量の削減	L	6,825	6,757	6,689	6,620
	kg-CO ₂	16,994	16,824	16,654	16,484
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
上記二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	1,579,631	1,563,835	1,548,039	1,532,242
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
水道水の削減	m ³	1,964	1,944	1,925	1,905
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
一般廃棄物の削減	kg	345	342	338	335
	対基準(%)	100	-1%	-2%	-3%
受託廃棄物の リサイクル率の向上	%	100%	100%	100%	100%

※関西電力株式会社2019年度、実績調整後の排出係数0.318kg-CO₂/kWhを使用する。

対象期間中の実績

年 度 項 目		2022年	対象期間 2023年度		
		基準値	目標	実績	評価
電力による 二酸化炭素削減	kWh	247,258	244,785	237,687	○
	kg-CO2	78,628	77,842	75,584	
	対基準(%)	100	-1%	-4%	
プロパンガスによる 二酸化炭素削減	L	33.40	33.07	32.80	○
	kg-CO2	100.20	99.20	98.40	
	対基準(%)	100	-1%	-2%	
自動車燃料による 二酸化炭素削減 (ガソリン)	L	21,006	20,796	19,340	○
	kg-CO2	48,733	48,246	44,868	
	対基準(%)	100	-1%	-8%	
自動車燃料による 二酸化炭素削減 (軽油)	L	556,270	550,707	543,878	○
	kg-CO2	1,435,175	1,420,824	1,403,206	
	対基準(%)	100	-1%	-2%	
灯油使用量の削減	L	6,825	6,757	6,125	○
	kg-CO2	16,994	16,824	15,251	
	対基準(%)	100	-1%	-10%	
上記二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	1,579,631	1,563,835	1,523,757	○
	対基準(%)	100	-1%	-4%	
水道水の削減	m³	1,964	1,944	2,183	×
	基準年度比	100	-1%	11%	
一般廃棄物の削減	kg	345	342	341	○
	対基準(%)	100	-1%	-1%	
受託廃棄物の リサイクル率の向上	%	100%	100%	100%	○

環境経営計画及び取り組み結果とその評価

活動:◎よくできた。○まあまあできた △あまりできなかった ×まったくできなかった

活動内容	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
総量の二酸化炭素削減	◎	目標達成
		内容は以下の通り
電力による二酸化炭素削減		目標達成
・空調温度の適正化(冷房27度 暖房22度)	○	空調の温度については外出先から帰社する営業の体調管理も踏まえて、難しい所ではありましたが、事務職員全員でエアコン等を定期的に清掃することにより解決できました。今後も継続していきます。
・空調の稼働台数見直し	◎	
・不必要照明の消灯	◎	
・コンベアーの空回し時間の短縮	◎	
プロパンガス使用量の削減		目標達成
・お湯使用時の見直し	◎	長時間水に触れる作業以外は冷水を使用するよう徹底しましたが、昨年シャワー室を設置した為、目標達成には至りませんでした。今後はシャワー室の利用者が少ない為、ガス使用自体を検討し、削減に精進します。
・シャワー室の利用時間制限	×	
自動車燃料による二酸化炭素削減(ガソリン)		目標達成
・アイドリングストップ	◎	職員とコミュニケーションをとり効率的なルートの情報交換と見直しを実施しました。効率化を図り、駅近い役所などは公共交通機関の利用を心がけ、今後もできることから実施していきます。
・効率的なルート改善	◎	
・急発進・急加速の防止	◎	
・自転車や公共機関の利用	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減(軽油)		目標達成
・アイドリングストップ	○	職員とコミュニケーションをとり効率的なルートの情報交換と見直しを実施しました。現在は余裕がないが、今後低燃費車の選択を検討しております。
・効率的なルート改善	◎	
・急発進・急加速の防止	○	
灯油使用量の削減		目標達成
・不要時には必ず消す	◎	2020年11月よりストーブの導入を開始している為、導入前より削減は難しい問題でした。今後は正確な削減を把握する為にも、目標値の見直しを検討したいと思います。
・温度管理	◎	
水使用量の削減		目標未達成
・節水運動	◎	洗車方法など清掃関係を見直し、節水を周知徹底しました。今後は雨水の貯水タンクがあるので、清掃などの利用に検討します。
・清掃管理(洗車・場内車道清掃 等)	◎	
一般廃棄物の削減		目標達成
・コピー用紙の裏紙使用	◎	裏紙の使用や、不要なコピーなどを削減するよう活動しました。今後はリサイクル推進について改善の余地がありますので、引き続き職員一丸となり改善に精進致します。
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・分別の強化	○	
受託廃棄物リサイクル率の向上		目標達成
・選別の厳正化	◎	リサイクル率を意識し、選別をカメラで見えにくい場合は目視でも確認し、徹底を強化致しました。リサイクルルート拡大についても余地がありますので引き続き、取り組んでいきたいと思えます。
・分別の徹底	◎	
・リサイクルルートの拡大	△	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限・アルコールチェック
大阪府条例(流入車規制)	収集運搬車(1, 4ナンバーのトラック、バン)
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
下水道法	除害施設

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

過去3年間、外部からの苦情・要請はありません。

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定		火災発生	
実施日:	2023年6月25日	実施場所:	敷地内駐車場
参加者:	内部全従業員	実施内容:	通報訓練、消火訓練、避難訓練
		手順書の変更の必要性	あり ・ なし
評価:	手順に基づいて行った結果、問題なし。		

実施状況の様子



火災応対手順書を用いて、敷地駐車場にて発生した際の対応について演習しました。

さらに火災が発生した際の注意点などを共有。

火災センサーや消火器の位置を改めて把握しました。

代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の認証を取得し2年目となります。
2023年度は2021年に導入した、中間処理施設の稼働が本格化し
売上高、利益率も順調に伸ばしてまいりました。
しかし、今後の建設業界の動向をみると先行不透明である為、新しい活路として
さらに営業力を強化し、処理量を増やしていきたいと思います。
そのような中で環境経営目標の達成率ですが、目標を達成していない部分もありますが
課題である二酸化炭素排出量などは削減出来ていることを鑑み
エコアクション21の推進委員会の積極的な活動により職員一丸となって取り組んできた賜物であると
評価致します。来年はさらに数値が向上するよう取り組んでまいります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

令和6年1月31日